

# ひまわり。

# 第32号

大阪府立今宮高等学校 2学年通信

〒556-0013 大阪市浪速区戎本町2-7-39

☎ 06 (6641) 2612

FAX 06 (6645) 7608

HP <http://www.osaka-c.ed.jp/imamiya/>

## 文化祭クラス劇大集合

夏休み明けから生き生きと元気に過ごしていますか。明日からいよいよ今高祭！文化祭では15期生全クラスが舞台部門（史上初!?）に登場。封切は2組、1日目11時半から。多目的が熱くなる2日間！！完成度の高いステージを目指し、ホールまるごと感動の渦に巻き込もう。



William  
Mix  
Quiz  
9/17  
AM  
9:00~

＜脚本＞  
松本、石岡、水谷

＜監督・演出＞  
水谷、松本、宮前

＜キャスト、レター＞  
松岡、和田、松山、小里子、林、匡、村田、渡辺、田原、今村、青木、石岡、水谷

＜音響＞永井   ＜照明＞上原、樽山

＜衣装＞谷奥、石原、藪中、寺田

＜大道具＞井口、根来、河田、幸田、益池、高橋、北山、角谷、小川、加藤、津川、東、小松、金城、藤岡、山下、泉谷、藤井、宮前

みんな協力して  
15期生に



Castle  
of  
Dragon

～カメのたしな～

2-2  
9月16日  
11:30~

★脚本★  
泉本、竹下、松岡、松本、山口

★監督・演出★  
竹下、松岡、山口

★レター★  
住田

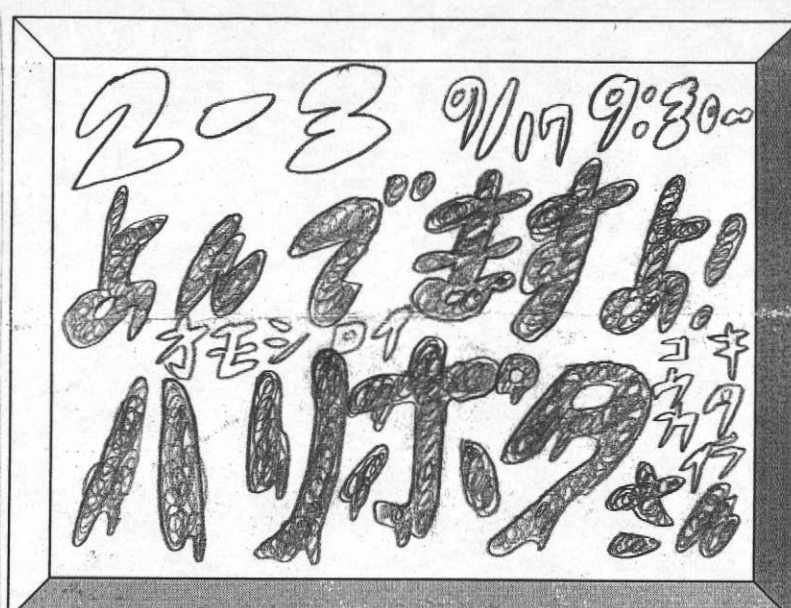
★大道具★  
梅口、村上、橋本、井原(中)、末廣、田中、松田、小林、柳

★キャスト★  
青松、泉本、井原(翔)、今岡、月藤、福田、藤田、伏見、古川、松本、銘田、森田

★衣装・小道具★  
小竹、南、谷村、尾野、光田、奥園、水谷

★照明★  
長、阿部、竹下、浅野、中島

★音響★  
細川、山田



203 9/17 9:30  
おんぞ封切  
川柳

脚本：浪川、梶谷、山野

監督：力石

キャスト：こじこじ、おおくぼ、力石、辻本、橋田、辻、真山、坂井、ちん、山野、住吉、村井

レター：上原

□ スライム  
ライブ  
2-4  
9月17日(土)  
11:20 開演!!

215 PANTZ

映像化不可能といわれたGANTZが  
まさかの舞台化。あなたの見た事のない  
世界をお届けします。と、まその前に...笑

MARIO 000000 0x00 PLAY THE GAME 9月17日 13:45 ~ 14:10

-脚本- 久保 馬季  
-監督- 山形 隼  
CAST  
松本和也 田口真夕 山形 隼 松尾 みづき  
-原作- 「ロス・タイフ・ライフ」  
中田・塩谷・原・大村・東野  
森田・中野・岡崎・生見  
大沢・山本・久保・樹・宮井  
魚波・三吉・朝木・向井・山本

<脚本> 森川 小嶋  
<監督> 森川  
<キャスト> 二神 森川 小嶋 森田 津田 大串 荒木  
佐伯 竹村 他多数  
<レター> 山田 笠井

△キャスト△  
マリオ 鎌田 岸田  
ルイージ 池田 志  
ピーチ 宮下 志  
クッパ 金田 中  
キノピオ 井藤 隆  
キノコA 田村 中  
キノコB 岸井 立  
スター 岸木 立  
立石 吉田 立  
近所のおばあさんA 安田 安  
近所のおばあさんB 安田 安  
△衣装△  
高岡 井藤 格清  
時野 茂村 西原  
△小道具員△  
八田 池田(高) 今井  
岡田 小林  
中島 水谷 宮地  
△脚本・監督△  
岸田 長穂  
尾崎 山本  
横山 三ツツ寺  
鈴木 飛土 渡邊

**誠実剛毅・和親協同**  
3月11日に東日本を襲ったM9.0の巨大地震による大津波は、あまりにたくさんのいのちとものを奪ってしまいました。沿岸域の町や村のあちこちで、がれきの山ができました。原発も甚大な被害を受け、半年経った今も、手がつれられない地域は少なくありません。しかし、自ら立ち上がり、全国からも大勢の人々が集まって、一緒になってがれきを片付け、道を通し、車が行き交うようになってきました。

岩手県南三陸町では、多くのがれきを取り除くことができました。この地を再び町に、そして、自分たちの故郷を復興させる—  
うっすらと夏草が生い茂る何も無い平原を見て、そんな気持ちが湧いてくるには、想像をはるかに上回る神聖で力強い心が働いているように感じます。まさに本校の校訓である「誠実剛毅・和親協同」の精神こそが、悲しみから立ち上がり、ともに手をつないで生きていく糧であるように感じます。不意の困難に直面した時でも、「誠実剛毅・和親協同」の精神によって、周りの人とつながることができる生き物であるから、今の繁栄があるのでしょ。

少し大きな言い方もかもしれませんが、今高祭は、校訓の意味を、自らの経験によって体得する大切な機会でもあるように思います。執行部をはじめ、文化祭や体育祭で中心として頑張っている人はもちろん、それぞれの場面で、それぞれの人が味わえる特別な感動がそこにあるはずですよ。  
かつての神戸の町がそうであったように、数年後、左の写真が、見事に復興し、活気づいた故郷の様子を写し出していたならば、その復興に携わった人たちは、どれほど感動することでしょう。  
何も無い所からはじめる—多くの困難を乗り越えて。だから特別な感動がある。心が熱くなる。いまつながれ!